



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

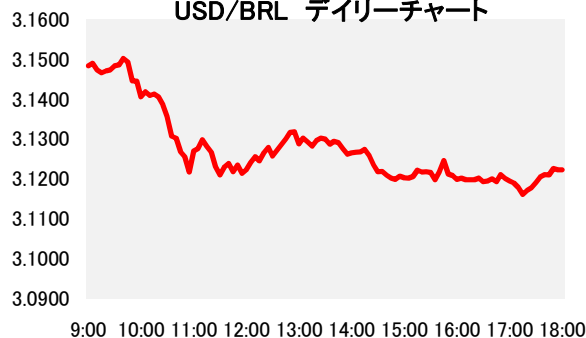
			10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1870	3.1690	3.1420	3.1560	3.1220	-0.0340
	BRL/JPY	Spot	32.58	32.64	33.09	32.89	33.38	+0.49
	EUR/USD	Spot	1.0979	1.0971	1.0926	1.0881	1.0875	-0.0006
	USD/JPY	Spot	103.84	103.43	103.96	103.83	104.23	+0.40
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.099	13.039	13.352	13.198	13.220	+0.022
	Future	1Year(p.a.)	12.246	12.194	12.386	12.418	12.379	-0.039
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.112	2.053	1.952	1.827	1.944	+0.117
	USD	1Year(p.a.)	2.229	2.188	2.115	1.981	2.073	+0.092
株式	Bovespa指数		63782	63506	63838	64108	64060	-48
CDS	CDS Brazil 5y		267.50	262.41	262.09	261.00	259.72	-1.28
商品	CRB指数		189.780	190.768	188.775	189.395	189.438	+0.04

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

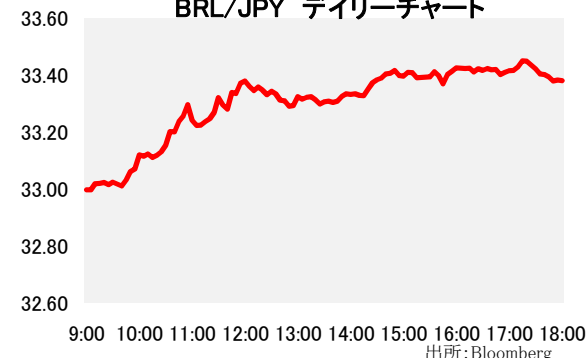
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.20%	0.24%	0.14%
貿易収支(週次)	--	\$709m	\$662m
(米)シカゴ連銀全米活動指数	-0.13	-0.14	-0.72
(米)マーケット米国製造業PMI	51.5	53.2	51.5

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

ブラード セントルイス連銀総裁	基本的に低金利は向こう2、3年にわたり標準となるだろう。
--------------------	------------------------------

4. トピックス

- 本日のレアルは3.1460で寄り付き、直後に日中安値となる3.1500を示現した。朝方行われた伯中銀によるドル買い介入金額が先週から変わらなかったため、レアルは堅調に推移。月末のレバトリ法案期日に向けて巨額のインフローがあるとの期待感を背景に、レアルは2か月前につけた昨年7月以来の最高値3.1150を示現した。そのまま3.1220でクローズ。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2016年のGDP成長率予想が▲3.19%から▲3.22%へ3週連続で引き下げられ、2017年予想は1.3%から1.23%に4週間振りに引き下げられた。インフレ率予想は2016年末が7.01%から6.89%に6週連続で引き下げられ、2017年末も5.04%から5.00%に3週連続で小幅下方修正された。
- 伯石油会社が業績改善計画の一環として仏石油会社との業務提携を発表。ポベスパ指数は2012年4月以来の高値をつけた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内における情報は意見、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。